

欧州特許庁、新たに6言語の機械翻訳サービスを提供開始

2013年7月2日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁 (EPO) は、6月26日、機械翻訳サービス「Patent translate」において同日から新たに6言語を追加する旨、プレスリリースを行った。

「Patent translate」は、2012年2月にリリースされ、Google との協力に基づき、最近追加された日本語、中国語を含む15言語について、EPO の無料オンライン特許文献データベースである「Espacenet」上にて、英語との間での特許文献の無料即時翻訳 (free on-the-fly-translation) を可能としていた。同プレスリリースによれば、今般、新たに、ブルガリア語、チェコ語、アイスランド語、ルーマニア語、スロバキア語、スロベニア語の6言語が追加され、合計21言語と英語との間での無料即時翻訳が利用可能となった。

同プレスリリースは、今後、EPO は、2014年末までに、EPC 締約国の28の公用語に加えて、ロシア語やアジアの主要言語について機械翻訳サービスを提供する予定であり、これによって世界で最も包括的な多言語特許情報プラットフォームとなるとしている。

EPO のバティステリ長官は、同プレスリリースにおいて次のとおりコメントしている。「Patent Translate は、特許文献から言語障壁を取り除くことによって、欧州の発明者及び企業に対して最先端技術へのより簡便なアクセスを提供するものである。世界の多くのユーザーに対して、これらの新たな国々のユーザーの発明に関する情報を英語にて利用可能とする一方で、それらの国々のユーザーに対しても、世界中の特許文献へのより良いアクセスを提供できることを、とてもうれしく思う。これは特許の品質に貢献するとともに、欧州企業の競争力強化に役立つものである。」

－ EPO のプレスリリースは、以下参照 －

[Six new languages added to Patent Translate](#)

－ 「Patent translate」のウェブサイトは、以下参照 －

[Patent translate](#)

－ EPO と Google の協力による機械翻訳についての欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁と日本国特許庁、日本語 - 英語間の機械翻訳サービスの提供を開始 \(2013年6月6日\) \(PDF\)](#)

[欧州特許庁と中国国家知識産権局、中国語 - 英語間の機械翻訳サービスを開始 \(2012年12月7日\) \(PDF\)](#)

[欧州特許庁、新たに7言語の機械翻訳サービスを提供開始 \(2012年10月28日\) \(PDF\)](#)

[欧州特許庁, Googleとの協力による機械翻訳サービスの提供を開始\(2012年3月1日\) \(PDF\)](#)

[欧州特許庁, Googleと機械翻訳の長期的な連携協定に合意\(2011年3月27日\) \(PDF\)](#)

[欧州特許庁, Googleと機械翻訳の協力に合意\(2010年12月1日\) \(PDF\)](#)

(以上)